



大島中では、剣道の稽古の様子などを披露し、併せて体験もしていただきました。このほかにも習字や折り紙、けん玉のコーナーも設け交流しました。



東和地区の小学生たちは陸奥太鼓を披露。その後の交流活動では、背の高いお兄さんたちが人気者に。

万国からのべ360人が来町し、様々な体験を通じて交流を深めました。
町内の各学校では、スカウトの皆さんをもてなそうと意見を出し合い準備を進めてきました。
子どもたちは、到着したスカウトの皆さんに最初は戸惑いを見せながらも、徐々に打ち解け、子どもたちの方から英語や身振り手振りを交えて、積極的に交流していました。
約2時間という限られた時間の滞在ではありましたが、趣向を凝らしたプログラムはスカウトの皆さんにも好評で、子どもたちも大勢の外国の方とふれあう貴重な時間を過ごしました。



学校だけでなく、地域の皆さんのご協力により、竹とんぼ作りや地引き網の体験も行われました。



民泊でオランダ団を受け入れました



ジャンボリー開幕前の民泊受け入れは県内では周防大島町のみで、12世帯の受け入れ家庭へ3～4人ずつ分かれて宿泊しました。

各家庭では、浮世絵の色付けや習字、盆踊りなどの体験のほか、寿司や天ぷら、お好み焼きなどがふるまわれるなど、工夫を凝らしたおもてなしで楽しい時を過ごされました。



久賀中では勇壮な引山太鼓でお出迎え。この後、女子はゆかたの着付け、男子は太鼓の体験を通じて交流しました。

周防大島町に来られたスカウトの皆さん

イギリス、ノルウェー、スイス、アメリカ、ドイツ、スロベニア、台湾、メキシコ、韓国、スウェーデン、イタリア、香港、ポルトガル、インドネシア、アイスランド、オランダ、日本

23RD
WORLD
SCOUT
JAMBOREE
JAPAN 2015